

2022年8月1日～2024年7月31日の間に 当科において肺癌の治療目的でPET検査および手術を受けられた 患者さん及びご家族の方へ

「肺癌における Digital PET/CT の有用性の評価」へのご協力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学呼吸器外科学	准教授	清水克彦
研究分担者	川崎医科大学呼吸器外科学	教授	中田昌男
	呼吸器外科学	講師	最相晋輔
	呼吸器外科学	講師	野島雄史
	呼吸器外科学	臨床助教	松谷隆志
	呼吸器外科学	臨床助教	杉山浩樹

1. 研究の概要

2023年11月に当院においても新型の digital PET/CT 装置が導入されました。PET/CTには光電子からの電気信号への出力をアナログとデジタルで行うものがあり、digital PET/CTではノイズを減少し、検出器自体をさらに微細にすることが可能であり、さらなる高感度・高分解能の検査が可能です。今回の研究では肺癌手術症例を解析して、従来の analog PET/CT と比較して digital PET/CT の有用性を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2022年8月1日～2024年7月31日の間に川崎医科大学附属病院呼吸器外科において肺癌の治療目的でPET検査および手術を受けられた方、または受けられる方を研究対象とします。

2) 研究期間

2024年8月14日～2025年7月31日

3) 研究方法

研究者が診療情報をもとに病理組織・予後に関するデータを選び、免疫染色に関する分析を行い、従来の analog PET/CT と比較して digital PET/CT よりよい情報を生む仕組みについて調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、治療歴、副作用等の発生状況、効果に関する画像情報、病理組織結果、予後に関する情報 等

試料：手術により得られた組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学呼吸器外科内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月10日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 呼吸器外科

氏名：清水克彦

電話：086-462-1111 内線 25519（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1124

E-mail：kshimizu@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。